

学校評価における 学校運営協議会の関わりについて

令和3年10月13日
八王子市立松木中学校
校長 大熊 一正

1 校長として地域運営学校との 関わり

- ▶ 平成25年4月 八王子市立宮上中学校に校長として着任。
 - ▶ 宮上中学校は地域運営学校制度が発足した年に導入した学校。
- ▶ 平成30年4月 八王子市立松木中学校へ異動
 - ▶ 松木中学校は地域運営学校制度が発足した2年目に導入した学校。

※どちらの学校も、歴史を積んで地域運営学校として歩みが定着している。

平成29年度宮上中学校 学校運営協議会 年間予定案							
					平成29年3月4日		
					平成29年4月20日改訂		
	月	日	曜日	時間	場所	審議事項	備考
第1回	4	8	土	8:30~12:00	図書室	委員委嘱 学校経営計画・校内人事 (校長) 学年経営方針(学年主任)	3校合同
第2回	5	13	土	13:00~14:15	応接室	体育祭(委員長)	14:30~ PTA総会
第3回	6	10	土	8:30~11:00	応接室	29年学校予算(事務)	兼:道徳推 進協議会
第4回	6	22	木	15:00~17:00	会議室	平成31年度 修学旅行業者プレゼン	
第5回	7	8	土	8:30~11:30	応接室	教員公募案(校長)<非公開 > 校内研修(主任) 生活指導の課題(生活主任) 学習指導の課題(進路主任)	
第6回	8	28	月	15:30~16:45	会議室	平成30年度移動教室プレゼン	
第7回	9	23	土	14:00~17:00	会議室 応接室	合唱コンクール(委員長) 小中一貫教育(教務主任) 修学旅行業者選定(1年主任)	3校合同 時刻に注 意
第8回	10	14	土	8:30~11:00	応接室	人事構想(校長)<非公開> 土曜授業参観	兼:道徳推 進協議会 午後:道徳 講演会
第9回	11	11	土	8:30~11:30	応接室	課題の提示(校長)	
第10回	12	9	土	8:30~11:30	応接室	外部アンケートに基づく 学校関係者評価(教務主任)	
第11回	1	20	土	8:30~10:30	応接室	外部アンケートに基づく 学校関係者評価(教務主任) 道徳指導の課題(道徳主任)	
第12回	2	3	土	8:30~11:30	応接室	教育課程(教務主任)	兼:道徳推 進協議会
第13回	3	3	土	13:00~16:30	会議室 応接室	アルバム業者(3年主任) 30活動計画(事務局)	3校合同
臨時							
※5月はPTA総会の日に開催。PTA総会において委員の紹介があります。							
※修学旅行のプレゼンは、6月下旬をめぐりに実施。今年度は土曜授業がないため、日程検討							
※3月3日はクリーン作戦があるため午後開催							
※東京都道徳拠点校のため、道徳推進協議会を年間3回実施します。(6月、10月、2月)							
*3校合同は年3回です。							
合同第1回 4月8日(土)							
合同第2回 9月23日(土)							
合同第3回 3月3日(土)							

地域運営学校となってもどんなメリットがある？

- ▶ 校長をはじめ、教職員が異動しても変わらない学校としての柱がある。
- ▶ 地域の中で、学校が歴史を刻んできた経過を伝えることができる。
- ▶ 危機的な状況において、学校長や教職員と一緒に考え、動く地域の人がいる。
- ▶ 生徒のために多くの人に関わることが求められる中で、学校のことを分かっている地域の方が関わることができる。
 - ▶ 子どもたちにも、地域社会の一員として自分たちがあることを早い段階で意識することができる。
- ▶ 社会に貢献している具体的な人物像を身近で感じることができる。

多摩ニュータウン（新興住宅街）における独特の事情

- ▶ 地域がないところに地域を作る。
- ▶ 今まで人口が少ないところを開発して住宅地にした。
- ▶ 地域文化、組織がほとんどない。
 - ▶ 学校が地域をつなぐ唯一のしくみ
 - ▶ P T A...保護者同士のネットワーク→地域の中でのネットワークへ
 - ▶ 子ども同士が同級生、同じ部活等からコミュニティへ
- ▶ 地域運営学校になることで、学校が地域を結び付ける役割に
 - ▶ 地域祭りを学校で実施
 - ▶ 松木アカデミー...保護者・地域の方を対象にした文化活動
 - ▶ みやかみミュージアム...生徒の作品や発表をもとに、保護者・地域の活動の創造

2 宮上中学校での学校評価

【 学校運営協議会の取組 】

▶ 学校運営協議会が発足した当初

- ▶ 様々な要望やクレームが学校に寄せられ、学校運営にも支障が出る状況であった。

→学校運営協議会が、保護者や地域の要望をいったん受け、学校が答えるものと学校運営協議会が答えるものに分ける。

▽学校は、子どもの教育に直接かかわるもの。教員の指導に関するもの。

▽学校運営協議会は、地域や保護者同士の様々なトラブルや環境など、学校では答えにくいもの。

※結果として、学校運営協議会が扱う苦情等が減り、このことで学校が対応に苦慮することが減った。

→本来の学校改善を目指した学校評価を行うことができるようになった。

2 宮上中学校での学校評価 2

【 宮上中学校における学校評価の仕組みと成果 】

- ▶ 私が着任した時
 - ▶ 学校評価は、評価アンケートを生徒、保護者、地域・関係者に行い、学校が集約したものを学校運営協議会で検討し、提言する。
 - ▶ これとは別に、学校運営協議会に直接意見を出すことができる意見箱を設置し、意見があれば学校運営協議会にて協議する。私が勤務した5年間では、ほとんど意見はなかった。
- ▶ 2つの新たな取組
 - ▽地域の方が集える場の設定（→みやかみミュージアム）
 - ▽学習支援としての土曜学習教室の開催

2 宮上中学校での学校評価3

【 宮上中学校における学校評価の課題と改善方策 】

○課題として

①学校評価における学校に対する評価は、多くの項目で肯定的な評価である。

→現状を維持することが強くなり、新たな課題に対して消極的になりがち。

②学校運営協議会として取り組みたいことと、学校評価との関連性があまり出てこない。

地域の方々が、学校へ来て活動できる場が欲しい。（学校運営協議会の継続した要望）

→平成29年度に「みやかみミュージアム」として生徒の活動を掲示発表する場として設定

3 松木中学校での学校評価

【 学校運営協議会の取組 】

- 分科会での取組
 - 学校運営協議会の委員が、学び支援部会、評価部会、地域連携部会、広報部会の4つに分かれて活動
- 評価部会...学校評価について検討することが一つの役割
 - 実際には学校運営協議会の活動に対する評価が中心になっている。

3 松木中学校での学校評価 2

【 松木中学校における学校評価の仕組みと成果、課題 】

- ➡ 現在の取組
 - ➡ 学校が取りまとめた学校評価を学校運営協議会にて検討。
 - ➡ 年数回の委員による授業観察
 - ➡ 年1回の委員と教職員一人ひとりとの面談の実施
- ➡ 課題として
 - ➡ 学校評価を行うにあたって学校運営協議会が、項目設定、結果の検討、提言といった学校評価の過程にどのように関わるのかが明確でない。

4 学校運営協議会に対する評価

- どちらの学校でも、学校運営協議会の活動に対する保護者、関係者の評価をアンケートでいただき、次年度の活動へ生かしている。
 - 学校運営協議会に関する認知度が高い。
 - 学校運営協議会が、学校や子どもたちのことを協議していることを知っている。
 - 学校運営協議会が、子どもたちの様々な支援のために活動していることを知っている。

5 学校評価の現状 (資料も参考に)

- ➡市として統一されている項目
【12項目】
- ➡学校独自で設定している項目
【18項目】
- ➡自由記述欄

※以上を7月と12月の年2回実施。

<課題>

- ①学校独自の項目設定に学校運営協議会があまり関わっていない。
 - ▶ この項目は、本来、学校が特色的に進めていることについて聞くべきものだと思うが、実際には、学校の教育全般についてまんべんなく網羅した項目になっている。
- ②2回の学校評価の周期が短すぎて、十分に吟味する時間がない。
 - ▶ 7月の学校評価は、夏休み中にまとめて、9月に検討する。
 - ▶ 12月の学校評価は、11月下旬ころから配布を始め、1月～2月に検討となる。

※学校改善を行うにも1回目と2回目の学校評価が近く、改善を図って成果が出るまでの評価となっていない。
- ③7月の学校評価では、「分からない」という評価の割合が多くなる。
 - ▶ 特に1年生については、学校の現状を十分に把握する前に学校評価となるため、「分からない」の割合が増えてしまう。

<改善案>

- ①学校評価において、その学校の特色を表す項目を3つ程度に絞り、学校運営協議会と協議の上項目設定する。
- ②7月の学校評価を中間評価とし、12月を年度評価として、評価の意味づけを明確に変える。
- ③学校運営協議会の学校評価についての関わりを、学校が重点的に取り組むことを中心に検討し、2月に当該年度の成果と次年度への提言をまとめる形にし、学校は、その提言を受けて次年度の教育課程を作成し、学校評価に取り入れる。

6 おわりに

- ▶ 地域運営学校の制度が始まって15年以上たった。
- ▶ 当初から取り組んでいる学校は制度が定着
- ▶ 新たに地域運営学校となる学校が増加
- ▶ 地域の中に存在している学校
 - ▶ 卒業した生徒が地域の中で活躍
 - ▶ 地域の人たちが学校を通じて次世代を育てる。
 - ▶ 地域のお年寄りと子どもたちの関わり

地域に住んでいるすべての人たちにとって学校が身近で有意義な場としてあるように進んでほしいと願っています。